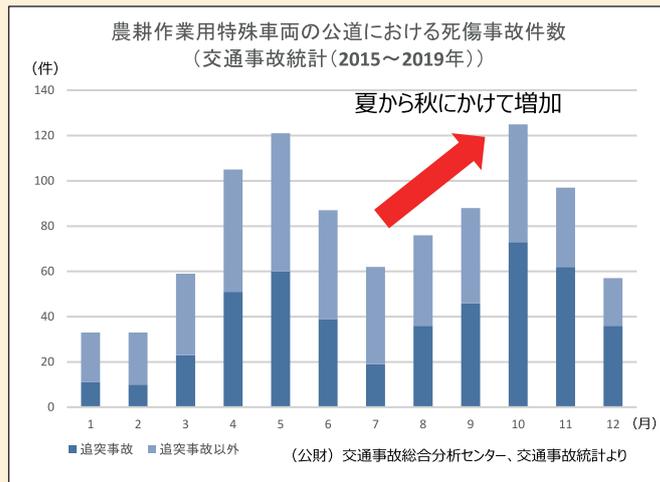


# 収穫の秋、農作業事故に気を付けましょう!

農耕作業用特殊車両の公道における死傷事故(5か年分)は、田植等の春作業時期(4~6月)に事故件数が多くなり、夏時期(7~8月)には減少しますが、収穫や耕うん等でコンバイン、トラクターを使用する秋作業時期(9~11月)になると再び増加する傾向にあります。

▶ 農林水産省  
「令和3年秋の農作業安全確認運動の展開について」より抜粋



## 【表】全国におけるコンバインやトラクターの事故事例

事故事例	負傷状況	事故発生時の状況	改善策
事例1 コンバインで手こぎ中に、右手がフィードチェーンに巻き込まれた。	中指・薬指の複雑骨折	軍手装着	手こぎでは手袋を装着しない。予期せずコンバインが動くことがないように、刈り取り部を最下げ位置にする。
事例2 農道走行中に道を踏み外して1.2m下のほ場に転落し、トラクターから投げ出されて下敷きになった。	死亡	安全フレーム付き、シートベルト未着用	シートベルトを着用し、身体が外に投げ出されるのを防ぐ。
事例3 日没後に道路上をトラクターで運転中、後方から10tトラックに追突され横転した。	左肩肩甲骨付近の打撲	安全キャブ付き、シートベルト未着用、低速車マーク未装備	シートベルトを着用し、後方からの追突を防ぐ低速車マークを装備する。

## コンバイン・トラクター使用時は次の点に留意しましょう。

- ▶ 公道の幅は車両が通行するのに十分か。
- ▶ クルマの追突防止で反射板や低速車マークを、転倒・転落に備えて安全キャブ・安全フレームを取り付けているか。
- ▶ トラクターではシートベルトを着用しているか、ブレーキペダルを確実に連結しているか。
- ▶ ヘルメットを着用しているか。
- ▶ コンバインでの手こぎ作業は緊急即時停止装置付きのコンバインを使用することが望ましい。また、手こぎを行う際は手袋、軍手、タオルは使用せず、袖口を締めるなど服装に留意する。



低速車マーク

## トラクターを運転するときは必ずシートベルトを着用しましょう!

公道での交通事故発生時のデータから、シートベルトを着用しない場合の死亡率は24.5%である一方、シートベルトを着用した場合の死亡率は約3.2%と、約8分の1に減少することがわかっています。